

天皇の公務の負担軽減等に関する有識者会議（第1回）議事概要

1 日時：平成28年10月17日（月）17：45～19：00

2 場所：総理大臣官邸大会議室

3 出席者：

・天皇の公務の負担軽減等に関する有識者会議メンバー

今井 敬	日本経済団体連合会名誉会長
小幡 純子	上智大学大学院法学研究科教授
清家 篤	慶應義塾長
御厨 貴	東京大学名誉教授
宮崎 緑	千葉商科大学国際教養学部長
山内 昌之	東京大学名誉教授

・政府側

安倍 晋三	内閣総理大臣
菅 義偉	内閣官房長官
杉田 和博	内閣官房副長官
衛藤 晟一	内閣総理大臣補佐官
古谷 一之	内閣官房副長官補
近藤 正春	内閣法制次長
西村 泰彦	宮内庁次長
山崎 重孝	内閣総務官

4 議事概要

（1）座長の選任

構成員の互選により、今井構成員を座長に選任した。

（2）内閣総理大臣挨拶

○今上陛下が現在82歳と御高齢であることも踏まえ、公務の負担軽減等を図るため、どのようなことができるのか、今後、様々な専門的な知見を有する方々の御意見もしっかり伺いながら、静かに議論を進めてまいりたい。そうしたことから、今回、識見を有する有識者の皆様にお集まりいただき、御議論をお願いすることとした。

○国家の基本に係る極めて重要なことがらであり、予断を持つことなく、十分に御審議いただき、国民の皆様の様々な御意見を踏まえた提言を取りまとめていただけるよう、よろしく願いたい。

(3) 運営方法等

座長の指名により、御厨構成員を座長代理に選任した。

有識者会議の運営について、資料2「天皇の公務の負担軽減等に関する有識者会議の運営について(案)」のとおり決定した。

(4) 自由討議

- ・この問題については、国民が高い関心を示しており、国民の間にも色々な考えがあると思われる。この会議の役割としては、論点や課題を明確に国民に示すことが重要。個人として予断を持つことなく、国民と一緒に考えていくための土俵を作っていくことが必要。
- ・御公務の軽減は、御公務の円滑な移行をどう図るかということでもあるのではないかと。
- ・会議においては、できるだけ多くの真摯な御意見を聴いて、陛下にとっても国民にとっても最も良い結論を導いていくことが必要。
- ・この問題は静謐な環境で議論することが大切であり、しっかりと静謐な環境を確保して議論することが必要。
- ・御高齢となった陛下の御事情にかんがみるとき、慎重さを旨としながらも何よりもスピード感を持って検討を進めることが重要。
- ・天皇は国民統合の象徴であり、その地位は国民の総意に基づく。会議の構成員は国民の一人として様々な専門家の意見をしっかりと伺い、総体としての国民の意思に沿った解決策を模索していきたい。様々な方策の抱える長所や短所を虚心に検討することが必要。

(5) 説明

資料3「皇室制度関係資料」を事務局から説明。

(6) 今後の進め方

- 座長から、憲法や歴史、皇室制度などの様々な専門的な知見を有する方々からヒアリングをしっかりと行った上で、国民世論も踏まえ、それらの意見も参考に提言を取りまとめていくことが提案され、次回会合において、人選と日程等を決定することとなった。
- 第2回会議については、天皇陛下の御公務の状況や、摂政、国事行為の臨時代行、退位の事例などについて事務局から説明の上、議論することとし、10月27日17:00から開催することとなった。